

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390900039
事業所名	グループホーム名古屋熱田の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	集合住宅に囲まれた場所にあり、地域との交流には困難を伴う。かつて、町内の清掃活動に参加したが、利用者から疑問の声が出たので中止している。近隣の保育所とは相互に行き来があり、園児が慰問に訪れている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年6回奇数月に運営推進会議を開催している。地域包括支援センター職員は毎回出席しているが、地域住民代表、利用者・家族の出席は低調である。事業の現況報告・行事計画の紹介が主な議題となっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	地域包括支援センター職員を通して入居状況を伝え、入居者募集等の情報を伝えている。生活保護受給者を多数抱えていることから、区担当課から受入れの打診は随時受けており、協力体制は整っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	利用料の請求・受取りをホーム窓口で行い、必然的に家族・関係者の訪問を促し、意見・要望等を聴く機会としている。「外出回数を増やしてほしい」との要望に応え、今春ほぼ全員を名古屋港ブルーボネットへ引率した。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎	○		